

# 主要指標の見通し

## 1 人 口

### (1) 目標人口

新市の平成24年における目標人口は、750,000人とする。

我が国の総人口は、少子高齢化の影響等により21世紀初頭にはピークを迎えるものと推計されているが、新市においては、新市建設計画の着実かつ円滑な実施による政令指定都市を展望した中枢拠点都市づくりの成果などにより、相当数の増加が見込まれるものと想定した。

### (2) 年齢階層別人口

出生率の低下と平均寿命の伸長により、今後、老年人口の増加が一層顕著となり、平成24年には約188,000人と、構成比でも25パーセントを占めることが想定される。

年少人口、生産年齢人口については、平成24年にはそれぞれ約103,000人、約459,000人となるものと想定される。

### (3) 就業人口

就業人口については、女性の社会進出や高齢者の就業の増加などが見込まれるものの、生産年齢人口が減少することから、就業者数は微増で推移するものと予測される。

このうち、第1次産業就業人口については、高齢化の進展や後継者不足などにより、平成24年で約11,200人に減少し、第2次産業就業人口についても、平成24年で約123,800人に減少するものと想定される。

第3次産業就業人口については、平成24年で約274,100人に増加するものと想定される。

構成比は、それぞれ2.7パーセント、30.3パーセント、67.0パーセントとなる。

## 2 世 帯

世帯数については、核家族や単身世帯などの増加による世帯人員の減少により、平成24年には約289,000世帯に達し、一世帯当たり人員は平成7年の2.91人から平成24年には2.60人にまで低下することが想定される。

# 人口、世帯などの見通し

(単位：人)

区 分		平成 7 年 ( 実 績 )	平成 1 7 年	平成 2 4 年
総 人 口		714,266	735,000	750,000
年 齢 階 層 別 人 口	年少人口 ( 0 ~ 14 歳 )	111,211 15.6%	106,000 14.4%	103,000 13.7%
	生産年齢人口 ( 15 ~ 64 歳 )	500,478 70.1%	476,000 64.8%	459,000 61.2%
	老年人口 ( 65 歳以上 )	102,533 14.3%	153,000 20.8%	188,000 25.1%
	世帯数	245,152	271,000	289,000
	1 世帯当たり人員	2.91	2.71	2.60
	就業人口	385,698	399,000	409,100
	第 1 次産業	16,277	13,200	11,200
	第 2 次産業	123,953	123,800	123,800
	第 3 次産業	245,468	262,000	274,100

(注 1) この見通しは、平成 7 年の国勢調査の人口をベースに推計したものに目標人口における期待値を加味したものである。

(注 2) 人口・年齢階層別人口：コーホート推計法をベースに推計した。

(注 3) 世帯数：厚生労働省人口問題研究所「日本の将来世帯数推計」(平成 10 年 10 月)を参考に平均世帯人員を推計した。なお、世帯数は一般世帯(普通世帯)である。

(注 4) 1 世帯当たりの人員：総人口を世帯数で除して算出した。

(注 5) 就業人口：従業地ベースとして集計した。

(注 6) 産業別就業人口：将来人口をベースに産業別の構成割合を想定して推計した。